児童に見られるつまずき

　場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　根拠となる言葉をもとに読み深めるためのめあてを話し合わせることで、何に焦点を当てて読めばよいのかという見通しを持たせ、登場人物の気持ちを深く想像できるようにする

指導事例集ｐ．９１

１　学年・単元名　　第３学年　場面の移り変わりをとらえて感想をまとめよう

『ちいちゃんのかげおくり』（読むこと）

２　単元目標

・場面の移り変わりに着目して読み、進んで感想を書こうとしている。

（関心・意欲・態度）

・場面の移り変わりに注意しながら、人物の行動・情景・会話などの表現に着目して読むことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　（読むこと・ウ）

・読み取った内容について自分の考えをまとめ、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　（読むこと・オ）

・文章の細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。　　　　　　　　 　　　　　 　（読むこと・エ）

３　本時の目標

　　・家族みんなでしたかげおくりを思いながら、きっとみんなが帰ってくることを願い、一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを考える。

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １　前時の学習を振り返る。  ワークシート④使用  ２　本時のめあてを考える。  ・かげおくりをしているちいちゃんの様子が分かるところに線を引く。  ワークシート⑤使用  “一人ぼっちで”かげおくりをするちいちゃんの気持ちを考えよう  ３　一人ぼっちでかげおくりをする様子やちいちゃんの気持ちがわかる言葉を見つけ、ちいちゃんの気持ちを読み取り、交流する。  　　・「ふらふらする足をふみしめて」から、ちいちゃんの体がとても弱っていることがわかるよ。  　　・「たった一つのかげぼうしを見つめながら」だから、ちいちゃんは一人でかげおくりをしているんだね。  　　・「きらきらわらいだしました」から、家族にやっと会えてうれしかった気持ちがわかるよ。    ４　第一場面と第四場面を音読し、それぞれのかげおくりを比較する。  　　・「ひとうつ、ふたあつ、みいっつ。」という家族の会話は同じだね。  　　・ちいちゃんが一人ぼっちでかげおくりをしている所が違う。  　　・「青い空からふってきました。」だから、家族は死んでしまって一緒にかげおくりしているわけではないね。  ５　一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを考え、まとめる。  ワークシート⑤使用 | 〇お母さんやお兄ちゃんとはぐれてしまい、体が弱っても、ただただ家族の帰りを待つちいちゃんの強い気持ちを想起させることで本時の課題へとつなげる。  **○線を引いたところから、読み深めるためのめあてをグループで話し合わせる。**  **○めあてをより具体化することで、児童が本時で考えることの具体的な見通しが持てるようにする。**  **〇読みの視点を掲示し、叙述をもとに考え、想像することができるようにする。**  〇第四場面の文章を板書に掲示し、児童の発表によって出てきた言葉に線を引き、そう考えた理由についてポイントを要約して板書する。  〇絶対に家族に会えるという強い気持ちをもつちいちゃんの気持ちや、体がとても弱り切ってしまっている様子を捉えることができるようにする。  〇第一場面の家族でしたかげおくりと、第四場面のたった一人でするかげおくりについて、ちいちゃんの気持ちや情景を思い浮かべるようにして、音読するようにする。  〇第一場面のかげおくりについて、挿絵を掲示したり、ワークシートを読み返したりして、家族と一緒に楽しくかげおくりをしたことをおさえる。  ワークシート②使用  〇家族を強く思っているからこそ、空から家族の声が聞こえたかのように感じたちいちゃんの家族愛を感じ取れるようにする。  〇家族と会えてうれしかったが、戦争によって多くのものを失ったことを想起させ、幸せだったのか考えを深められるように声をかける。  〇心に残った文を中心に、感想を書くようにする。 |